



各所で年末特別警戒発隊式
 国際大付高野球部監督 垂水署で一日署長

街頭犯罪や交通事故の増加が懸念される年の瀬を前に、市内の各所で年末特別警戒の発隊式が開かれた。

垂水区のJR垂水駅周辺では、垂水署の発隊式があり、今年春夏連続で甲子園出場を果たした神戸国際大付属高校（同区学が丘5）野球部の青木尚龍監督（53）が一日署長を務めた。

青木監督は署員らの前に「垂水区民の皆さんが安心して過ごせるように頑張ってください」と激励。その後、白バイやパトカーなど計6台が赤色灯を光らせながら区内へと出発した。

また、中央区の豊合署では、同署協議会会長で主婦の大黒恭子さん（52）が一日署長を務めた。内田慶人署長は「不穏な暴力団情勢、高齢者を狙った特殊詐欺などに對して、いっそうの警戒が必要。警察の総合力を発揮したい」と話した。

（杉山雅崇、小森有喜）

垂水署の一日署長を務めた神戸国際大付属高校野球部の青木尚龍監督＝JR垂水駅前